工業用水道事業会計

令和3年度胎内市工業用水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和3年度胎内市の工業用水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。 (業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水件数

1 件

(2)年間総給水量

237, 250 m³

(3) 1日平均給水量

650 m³

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

(単位:千円)

収	入
第1款 工業用水道事業収益	12, 893
第1項 営 業 収 益	5, 265
第2項 営業外収益	7, 628

支	出
第1款 工業用水道事業費用	13, 054
第1項 営 業 費 用	11, 912
第2項 営業外費用	142
第3項 予 備 費	1,000

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

(単位:千円)

収	入
第1款 資本的収入	1, 318
第1項 他会計補助金	1, 318

(単位:千円)

支	出
第1款 資本的支出	1, 318
第1項 企業債償還金	1, 318

(一時借入金)

第5条 一時借入金の限度額は、2,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

- 第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。
 - (1) 各項に計上した予定額に過不足を生じた場合における同一款内の各項の間の流用 (議会の議決を経なければ流用することのできない経費)
- 第7条 次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、 又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければな らない。
 - (1) 職員給与費 1,919 千円

(他会計からの補助金)

第8条 胎内市工業用水道事業助成のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、 1,458 千円である。 (たな卸資産購入限度額)

第9条 たな卸資産の購入限度額は、50千円と定める。

令和3年2月18日 提 出 胎 内 市 長 井 畑 明 彦 予算に関する説明書

注 記

I 重要な会計方針

財務諸表等の作成については、改定後の地方公営企業会計基準を適用している。

1 たな卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産(貯蔵品)は先入先出法による原価法による。

2 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・ 主な耐用年数

構築物30~40年機械及び装置8~20年

3 引当金の計上方法

貸倒引当金

貸倒実績がないので、計上しない。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

Ⅱ セグメント情報の開示

工業用水道事業会計のみの運営であるので、セグメント情報の開示は省略する。

令和3年度胎内市工業用水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収入 第1款 工業用水道事業収益

		項		目		予:	定額		区	5	節	予定額	説	明
1	崖		業	収	益		5, 265				<u> </u>	7 70 20		
		1 給	水	収	益		5, 265	給	水	収	、 益	5, 265	工業用水道料金収益	
2	崖	書 業	纟 外	· 収	益		7, 628							
		1 他	会計	十補	助金		140	他	会 計	補	助金	140	一般会計補助金	
		2 長	期前	受金	戻入		7, 488	I.	事負	担金	戻 入	5, 436		
								他至	会計補	前助会	金戻入	2, 052		
			Alis.			.	L 300			^	71			
	1	工	業	用	水	道	事 業	収	益	台	計	12, 893		

支 出 第1款 工業用水道事業費用

	J	—— 頁	<u> </u>		予定額				負	ή		説明
_				H			区		分		予定額	,,,
	営	業	費	用	11, 912							
	1)	京	水	費	1, 916			託		料		净水場運転管理業務委託料
						修		繕		費		機器類等修繕
						動		力		費	1, 389	净水場等電気料金
	2	記	水	費	204	委		託		料	54	水質検査業務委託料
						修		繕		費	100	管路等修繕
						材		料		費	50	修繕用材料
	3 ∄	総	係	費	2, 290	給				料	1, 341	職員 1人
						手		当		等	200	期末手当 95
												勤勉手当 69
												通勤手当 26
												時間外勤務手当 10
						法	定	福	利	費	378	職員共済組合納付金等
												(長期給付追加費用、旧恩給組合費用含む)
						旅				費	60	職員旅費
						退	職手	- 当 ;	組合	費	269	職員退職手当組合納付金
						通	信	運	搬	費	1	後納郵便料
						委		託		料	14	電算業務処理委託料
						負		担		金	20	情報ネットワーク負担金
						保		険		料	7	建物総合損害共済保険料 2
												日本水道協会賠償責任保険料 5
	4 ì	咸 侃	賃 鏆 却	費	7, 502	有減	形し価	固定	· 資	産費	7, 502	 構築物
						似	7Щ	順	제	質		機械及び装置 1,932
2	営	業	外 費	用	142							,
			払 利	息		企	業	倩	利	息	140	
		~	4en (11)	, <u>:</u> ;	112		入				2	
2	予		 備	費	1, 000	-		444	-1-0	Ċ		- 4 ID X 2001 AND
	1 -		····· - 備	費	1,000	₹ ,		備		費	1 000	
-							ш		≑L	頁	1,000	
	1 Л		美 用	水	道 事 業	費	用	台	計		13, 054	

資本的収入及び支出

収入 第1款 資本的収入

		項		目		予定額			節		説	明
_	lıh						-	区	分	予定額		
				補助			_					
		1 他	会	計補具	助 金	1, 31	.8 他	会 計	補助金	1, 318	一般会計補助金	
	1	Í	質	本	自	内 収	入	合	計	1, 318		

項目	予定額	節		説明
		区分	予定額	Wu 91
1 企業債償還金				
1 企業債償還金	1, 318	建設改良費等の則源に充てるための企業債償還金	t 1,318 注	企業債償還元金(定期償還分)
1 資 本 的	勺 支	出 合 計	1, 318	

令和3年度胎内市工業用水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位	:	千円)
(-/-	•	1 1 3/

		(単位:千円)
1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	839
	減価償却費	7, 502
	長期前受金戻入額	△ 7,488
	支払利息	142
	未払金の増減額(△は減少)	1
	小計	996
	利息の支払額	△ 142
	業務活動によるキャッシュ・フロー	854
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	一般会計からの補助金による収入	1, 318
	投資活動によるキャッシュ・フロー	1, 318
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,318
	財務活動によるキャッシュ・フロー	<u> </u>
	資金増加額(又は減少額)	854
	資金期首残高	6, 515
	資金期末残高	7, 369

1 総括

1 - 11-1								
	職	員 数		給 4				
区 分	特別職	一般職	報酬	給 料	手 当	計	法定福利費	合 計
	(人)	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
本 年 度		1 ()		1, 341	200	1, 541	378	1,919
前年度		1 ()		220	55	275	43	318
比 較				1, 121	145	1, 266	335	1,601

	区分	期末勤勉 手 当 (千円)	管理職手当 (千円)	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	地域手当 (千円)	単身赴任 手 当 (千円)
	本年度	164				26		
手	前年度					5		
当の	比 較	164				21		
内訳	区分	時 間 外 勤務手当 (千円)	休日給 (千円)	宿 日 直 手 当 (千円)	管理職員特別勤務手当 (千円)	寒冷地手当		合計 (千円)
	本年度	10						200
	前年度	50						55
	比 較	△ 40						145

ア 会計年度任用職員以外の職員

と 職員数 と								
区 分	特別職	一般職	報酬	給 料	手 当	計	法定福利費	合 計
	(人)	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
本年度		1 ()		1, 341	200	1, 541	378	1, 919
前年度		1 ()		220	55	275	43	318
比 較				1, 121	145	1, 266	335	1, 601

	区	分	期末勤勉 手 当	管理職手当	扶養手当	住居手当	通勤手当	地域手当	単身赴任 手 当
			(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	本 年	三 度	164				26		
手	前年	三度					5		
当の	比	較	164				21		
内	区	分	時 間 外 勤務手当	休日給	宿日直 手 当	管理職員特 別勤務手当	寒冷地手当		合計
訳			(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)
	本 年	三度	10						200
	前年	三度	50						55
	比	較	△ 40						145

イ 会計年度任用職員

	職	員 数		給 4				
区分	特別職(人)	一般職(人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	手 当 (千円)	計 (千円)	法定福利費 (千円)	合 計 (千円)
本年度		()						
前年度		()						
比 較		()						

	区分	期末勤勉 手 当 (千円)	管理職手当 (千円)	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	地域手当 (千円)	単身赴任 手 当 (千円)
	本年度							
手	前年度							
当の	比 較							
内訳	区 分	時 間 外 勤務手当 (千円)	休日給 (千円)	宿 日 直 手 当 (千円)	管理職員特別勤務手当 (千円)	寒冷地手当		合計 (千円)
	本年度							
	前年度							
	比 較							

^{※()}内には、短時間勤務職員の職員数を記載している。

2 給料及び手当の増減額の明細

区	分	増 減 額 (千円)	増減事	由 別 内 訳 (千円)	説明	備考
給	料	1, 121	給与改定に 伴う増減分			
			昇給に伴う 増加分	24		
			その他の増減分	1, 097	人事異動等による増	
手	当	145	制度改正に 伴う増減分	△ 5	期末手当の支給率改正等による減	
			その他の 増減分	150	時間外勤務手当の減 △40 人事異動等による増 190	

3 給料及び手当の状況

(1)職員1人当たり給与

	/ H 4						
区	区 分						技能 労務職
	平均給料月額	(円)					
令和3年1月1日現在	平均給与月額	(円)					
	平 均 年 齢	(歳)					
	平均給料月額	(円)					
令和2年1月1日現在	平均給与月額	(円)					
	平 均 年 齢	(歳)					

(2) 初任給

			一般会記	汁の制度
区 分	行 政 職	技能労務職	行 政 職	技能労務職
	(円)	(円)	(円)	(円)
高 校 卒	150,600	147, 900	150,600	147, 900
大 学 卒	182, 200		182, 200	

(3)級別職員数

	30					
区 分		行 政 耳	哉		技能 労務職	
区 刀	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)
	6級	()	()			
	5級	()	()	5 級	()	()
令和3年	4級	()	()	4級	()	()
1月1日現在	3級	()	()	3級	()	()
	2級	()	()	2級	()	()
	1級	()	()	1級	()	()
	計	()	()	計	()	()
	6級	()	()			
	5級	()	()	5級	()	()
令和2年	4級	()	()	4級	()	()
1月1日現在	3級	()	()	3級	()	()
	2級	()	()	2級	()	()
	1級	()	()	1級	()	()
	計	()	()	計	()	()

^{※()}内には、短時間勤務職員の職員数及び構成比を記載している。

(級別の基準となる職務)

区		}	6 級		5級		4級		3級		2級		1級	
行	政	職	課参	長事	参	事	係主	長 査	主	任	主技	事師	主技	事師

(4) 昇給

	<u>X</u>	分		合	計	行 項	文 職	技能労務職
	職員数	(A)	(人)					
本	昇給に係る職員数	(B)	(人)					
		2 号 給	(人)					
年		3 号 給	(人)					
1	号給数別内訳	4 号 給	(人)					
		5 号 給	(人)					
度		6 号 給	(人)					
	比率	(B)/(A)	(%)					
	職員数	(A)	(人)					
前	昇給に係る職員数	(B)	(人)					
		2 号 給	(人)					
年		3 号 給	(人)					
7	号給数別内訳	4 号 給	(人)					
		5 号 給	(人)			·		
度		6 号 給	(人)			, and the second		
	比率	(B)/(A)	(%)					

(5) 期末手当・勤勉手当

	支給期別	川支給率		職制上の段階、	備考
区 分	6 月	12月	大阳 十	職務の級等に よる加算措置	
	(月分)	(月分)	(月分)	よるが発用巨	
本 年 度	2. 200	2.200	4. 400	5%~15%	
前 年 度	2. 225	2. 175	4. 400	5%~15%	
一般会計の制度	2. 200	2.200	4. 400	5%~15%	

(6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区分	20年勤続	25年勤続	35年勤続	最高限度	その他の加算措置等	備考
	の者(月分)	の者(月分)	の者(月分)	(月分)	での他の加昇相直守	畑分
支給率等	24. 586875	33. 27075	47. 709	47. 709	一般会計と同じ	
一般会計 の制度 (支給率等)	24. 586875	33. 27075	47. 709	47. 709		新潟県 市町合 路組同 共 理

(7) その他の手当

区分				一般会計の制度との異同	差異の内容
扶	養	手	当	同	
地	域	手	当	同	
住	居	手	当	同	
通	勤	手	当	同	

令和3年度胎内市工業用水道事業会計予定貸借対照表

(令和4年3月31日)

	資	産	Ø	部		(甾位, 壬四)
1 固 定 資 産						(単位:千円)
(1) 有 形 固 定 資 産						
イ 構 築 物		226, 531				
減価償却累計額		△88, 836		137, 695		
口機械及び装置		42, 751				
減価償却累計額		$\triangle 14,992$		27, 759		
有形固定資産合計					165, 454	
固定資産合計						165, 454
2 流動資産						
(1) 現 金 ・ 預 金					7, 369	
(2) 未 収 金					421	7 700
流 動 資 産 合 計 資 産 合 計						7, 790
真 座 口 引						173, 244
	負	債	\mathcal{O}	部		
3 固 定 負 債						
(1) 企 業 債						
イ 建設改良費等の財源に						
充てるための企業債				3,870		
企 業 債 合 計					3,870	
固定負債合計						3,870
4 流 動 負 債						
(1) 企 業 債						
イ 建設改良費等の財源に						
充てるための企業債				1, 348		
企業債合計					1, 348	
(2) 未 払 金 ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ					36	1 204
流 動 負 債 合 計 5 繰 延 収 益						1, 384
長期前受金					267, 699	
長期前受金収益化累計額					$\triangle 105,530$	
繰延収益合計						162, 169
負 債 合 計						167, 423
	ンケット	4-	<i>a</i>	4 17		
	資	本	0)	部		
6 剰 余 金						
(1) 利 益 剰 余 金						
イ 当年度未処分利益剰余金				5,821		
利益剰余金合 計					5, 821	
剰 余 金 合 計						5, 821
資本合計						5, 821
負 債 資 本 合 計						173, 244

令和2年度胎内市工業用水道事業会計予定損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

			(単位:千円)
1 営 業 収 益			
(1) 給 水 収 益	5, 265	5, 265	
2 営業費用			
(1) 原 水 費	2, 194		
(2) 配 水 費	83		
(3) 総 係 費	636		
(4) 減 価 償 却 費	7, 489	10, 402	
営 業 損 失			5, 137
3 営業外収益			
(1) 他 会 計 補 助 金	168		
(2) 長期前受金戻入	7, 488	7, 656	
4 営業外費用			
(1) 支 払 利 息	169	169	7, 487
経 常 利 益			2, 350
当 年 度 純 利 益			2, 350
前 年 度繰越利益剰余金			2, 632
当年度未処分利益剰余金			4, 982

令和2年度胎内市工業用水道事業会計予定貸借対照表

(令和3年3月31日)

	資	産	0	部		(光片、ズ田)
1 固 定 資 産 (1) 有 形 固 定 資 産		000 501				(単位:千円)
イ 構 築 物 減 価 償 却 累 計 額 ロ 機 械 及 び 装 置		$226,531$ $\triangle 83,266$ $42,751$		143, 265		
減価償却累計額有形固定資産合計固定資産合計		△13, 060		29, 691	172, 956	172, 956
2 流 動 資 産 (1) 現 金 ・ 預 金 (2) 未 収 金					6, 515 421	
流動資産合計資産合計	負	債	の	部		6, 936 179, 892
3 固 定 負 債 (1) 企 業 債		IH.	v	ΗΡ		
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債 企 業 債 合 計 固 定 負 債 合 計				5, 218	5, 218	5, 218
4 流 動 負 債 (1) 企 業 債 イ 建設改良費等の財源に						0, 210
充てるための企業債 企業債合計 (2)未 払金				1, 318	1, 318 35	
流 動 負 債 合 計 5 繰 延 収 益 長期 前 受 金					266, 381	1, 353
収益化累計額 繰延収益合計 負債合計					△98, 042	168, 339 174, 910
	資	本	0	部		2, 2, 020
6 剰 余 金 (1) 利 益 剰 余 金 イ 当年度未処分利益剰余金				4, 982		
利益剰余金合 計 剰 余 金 合 計 資 本 合 計 負 債 資 本 合 計					4, 982	4, 982
負 債 資 本 合 計						179, 892